

## 第 10 回 盛岡地区かわまちづくり懇談会

### 参考資料

オープンハウス展示パネル

平成 26 年 8 月 31 日開催

平成 27 年 3 月 17 日

# 盛岡地区かわまちづくり

●かわまちづくりとは、「**かわづくり**」と「**まちづくり**」が連携を図り、良好な空間をつくり、地域の活性化を目指す取り組みです。

**かわまち  
づくりとは**

<ソフト面>

イベント開催などによる地域づくり



<ハード面>

まちと一体となった水辺づくり



**実施範囲**

**【かわまちづくり計画検討範囲】**

- 中津川：浅岸橋～三川合流点
- 北上川：夕顔瀬橋～明治橋下流



# かわまちづくりの目標像と基本方針

## 目標像 盛岡かわまちづくり計画

北上川・中津川と地域住民がともに育んだまちの歴史・文化や、生命の息吹を感じるかわの自然を大切に、地域住民の暮らしの中で、盛岡の魅力を広く知ってもらう身近な交流の場、そんな「かわ」と「まち」と「ひと」とが共存し続ける水辺づくりを目指します。

### 基本方針

#### 1. ひと・かわ・まちの連携の再構築



#### 2. かわとまちの自然環境の保全・活用



#### 3. かわとまちの歴史・景観資源の保全・活用



#### 4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出



### 安全・安心なかわづくり・まちづくり

- 市民の安全な暮らしの確保
- 護岸等の適正な補修・維持管理の推進
- 防災情報の提供の充実・防災体制の強化
- 避難場所・避難経路の確保

# 盛岡かわまちづくり計画の進め方

●平成21年度より、懇談会やワークショップ、勉強会等を開催し、皆様の意見を取りまとめて、かわまちづくりを進めています。

## 懇談会

市民団体や行政、大学等で構成され、かわまちづくりの取組みの協議や意見交換を行うものです。

## ワークショップ

市民の皆様や活動団体を対象に、かわまちづくりの検討箇所を話し合い、提案をまとめるものです。

## 勉強会

市民と行政との協働、かわ・まち・ひとの連携について恒常的に対話する場です。

## かわまちづくりの経過

平成21年度

### 第1～3回懇談会

- 盛岡地区かわまちづくり計画の立案「盛岡かわまちミュージアム」



懇談会の様子

平成22年度

### 第4回懇談会

- 勉強会の開催、アクセス整備
- 既設護岸への捨石・中州の撤去

### 中津川ワークショップ（年3回実施）

- 市民からの提案書の作成（上の橋～下の橋）

### 第5回懇談会

- 他事業との連携、アクセス整備
- 自然環境への配慮、護岸の維持・補修

### 北上川ワークショップ（年2回実施）

- 市民からの提案書の作成（三川合流点～明治橋下流）



懇談会の様子



ワークショップの様子

平成23年度

### 第6回懇談会

- 護岸（バラベツ）の修景等について

### 第7回懇談会

- かわまち勉強会を推進
- 中州を撤去
- サインシステムを整備

### 中津川・北上川ワークショップ（年5回実施）

- 市民からの提案書の作成  
中津川（浅岸橋～上の橋、下の橋～三川合流点）  
北上川（夕顔瀬橋～三川合流点）

### かわまち勉強会

- 活動状況の報告
- 各種活動の実践に向けた課題等について（意見交換）

平成24年度

### 第8回懇談会

- 事業の進捗状況の報告
- サイン整備計画案等について

### かわまち勉強会

- 活動状況の報告
- 課題等の解決策について（意見交換）

平成25年度

### 第9回懇談会

- 事業の進捗状況の報告
- 堤防の色彩等について

### かわまち勉強会

- 新山河岸の整備について
- エコロジカルネットワークの検討について

平成26年度予定

### 第10回懇談会

### かわまち勉強会

# 1. ひと・かわ・まちの連携の再構築

●かわまちづくりの実現にむけて、市民の皆様と連携・協力し、活動や情報を共有しています。

## オープンハウス

●24時間テレビイベント・テレビ岩手・内丸大緑日の会場にて、パネル展示と、かわまちづくりに関するアンケート調査を実施しました。

平成 22 年  
平成 23 年  
平成 24 年  
平成 25 年  
と実施しました！



ブース全体の様子(遠景)



オープンハウス実施状況



PRのためのパネル展示



皆様の意見をもらうためのアンケート調査

## 懇談会

### 平成24年度

●平成24年度は、勉強会1回、懇談会1回を開催しました。



意見交換の様子



現地視察の様子

### 平成25年度

●平成25年度は、勉強会2回、懇談会1回を開催しました。



意見交換の様子



特殊堤の色彩検討の様子

## 2. かわとまちの自然環境の保全・活用

- かわまちの空間を、日々の憩いや癒しの場として、また貴重な自然空間として、保全・活用します。

### 整備の背景

#### <かわを学べる水辺空間づくり>

- 中津川は全体的に流れが速く、水深が深いため、危険な箇所が多くなっています。



- 川幅を広げ、安全な水辺の創出を進めていきます。



#### <砂州の管理>

- 中州がサケの遡上を阻止している面もあります。



- 中州の撤去を行い、自然環境の保全・向上を図ります。



### 整備の状況

○親水性の改善（毘沙門橋上流右岸）  
【整備前】



【整備後】



○中州の撤去（毘沙門橋～中の橋）  
【整備前】



【整備後】



### 3. かわとまちの歴史・景観の保全・活用

●古くからの地域の歴史・文化や自然景観と調和を図り、未来に継承していきます。

#### 整備の 背景

<かわ・まちの歴史を活かした水辺づくり>

●材木町には、歴史のある石垣が現存します。



材木町の石垣

●鉦屋町界隈では、街並み環境整備事業が進められています。



●並岡の古い街並みと調和した川づくりを推進していきます。



鉦屋町の街並み

#### 整備の 状況

○自然石積護岸の整備  
【整備前】



【整備後】



○コンクリート護岸の補修・修景整備  
【整備前】



【整備後】



## 4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出 その1

- かわとまちとが連続した空間を創り出すことで、地域と観光との交流を図ります。

### 整備の背景

#### <水辺の遊歩道の整備>

- 川沿いの市道には歩道がない箇所も多くなっています。



- 壊れた水辺空間を回復する遊歩道の整備推進を図っていきます。

#### <まちとかわを結ぶアクセス整備>

- 川の背後では、魅力あるまちづくりが進められています。



- かわとまちを結ぶ階段やスロープ等の整備推進を図っていきます。

### 整備の状況

#### ○遊歩道の延伸整備（中津川）

【整備前】



【整備後】



#### ○階段の新設整備（中津川）

【整備前】



【整備後】





# 4. かわとまちを結ぶ連携空間の創出 その2

整備の  
状況

○管理用通路  
【整備前】



【整備後】



○管理用坂路  
【整備前】



【整備後】



○管理用坂路  
【整備前】



【整備後】



○石積護岸  
【整備前】



【整備後】



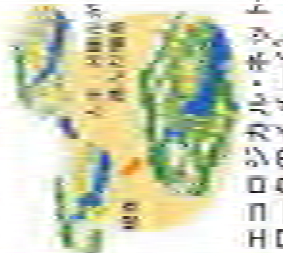
# 北上川

# エコロジカルネットワーク

## 取り組みの目標



エコロジカル・ネットワークとは、貴重な自然を保全するとともに、断切れになった自然をつなぎ、生きものの移動経路を確保したり、自然の動きを回復させることにより、豊かな自然を再現しようとする取り組みです。

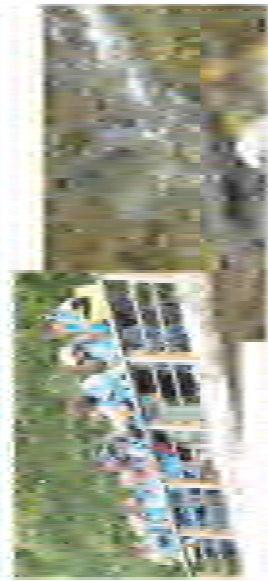


エコロジカル・ネットワークのイメージ

## サケ 200km の旅を応援します！

### 1. 生まれわいの再生

行政や市民団体・NPO等が一体となってサケの生息環境、産卵床の保全・創出に取り組み、かつての賑わいを取り戻します。



### 2. 海が湧く・源流しやが川に

・北上川で確認されている多くの魚類の遡上環境改善のため、魚がのぼりやすい川づくりに取り組みます。  
 ・サケの産卵床をはじめとした動植物の多様な生育環境を保全・復元するため、磯河原の再生に取り組みます。



再生された  
磯河原

魚道の改良と、  
それをのぼるサケ

東日本大震災からの復旧・復興をめざして  
**エコロジカル・ネットワーク形成に向けた取り組みを、**  
**復活・北上川のシンボルに...**

# 北上川

# エコロジカルネットワーク

## 取り組み①

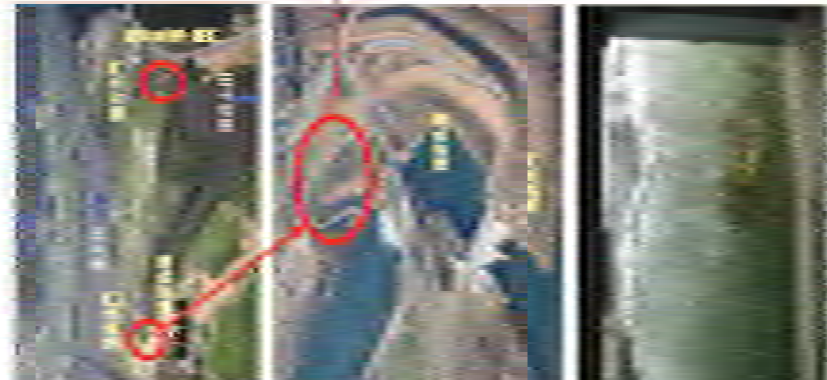


分流量地区(魚道改良)

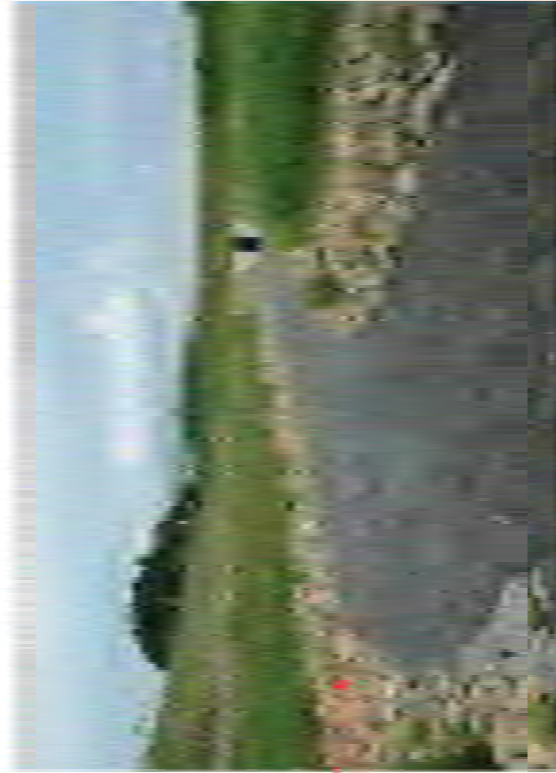
## 魚がのほりやすい川づくり

### 1. にほひの河床

サケをはじめ、北上川で確認されている多くの魚類の遡上環境改善のため、魚道の改良を行います。



(整備済み魚道の観察窓より)



整備済み魚道を遡上しているサケ

# 北上川 エコロジカルネットワーク

## 取り組み②



JR和賀川橋梁の付近を  
北上川から和賀川の方向をみたイメージ



砂州の掘削により、かつての礫河原を再生し、サケの産卵床をはじめとした動植物の多様な生育環境を復元します。

＜事業前＞



＜事業後（イメージ）＞



## 礫河原の再生



復元された礫河原



復元された礫河原で  
行われている、地元  
小学生やNPOによ  
る水生生物調査

# 地域の活性化に活かす 北上川とサケ

## サケ 200 kmの旅を応援

### ■地域との連携



### ■地域との連携

サケが遡上する北上川水系の環境を保全していくには、広い範囲の流域市町村、市民、NPO、漁協等との連携が不可欠です。これら関係機関との連携の仕方、また持続可能な取り組みの方法を検討しています。

### ■観光推進への活用

サケ 200kmの旅を、北上川水系の大切な財産、地域の誇りとして、観光にPRし、観光推進に活用する方を展開します。



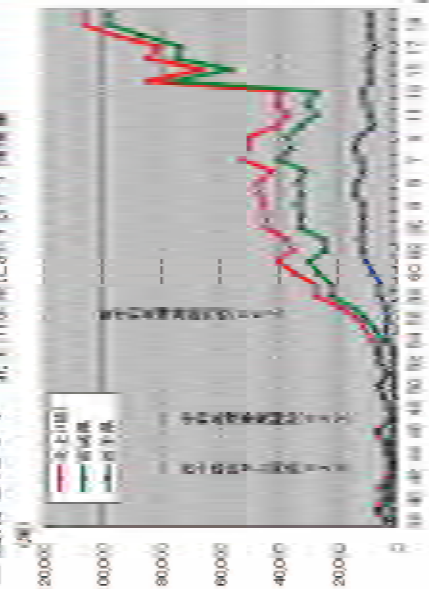
り館連携の取り組み



文化をつなぐ中津川のワットパス

### ■復活したサケ

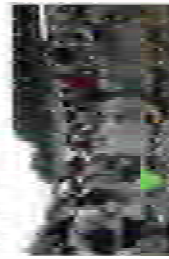
北上川水系におけるサケの回復



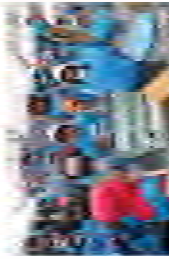
かつて鉱毒水による水質悪化で「死の川」とまで呼ばれた北上川にサケが戻ってきました。こうしたかかげがえのなしい環境を保全していくため、流域一体となった啓発活動に取り組み始めていきます。

### ■NPO・市民活動団体による取り組み

流域市町村やNPO、市民活動団体などは、すでにさまざまな取り組みを展開しています。



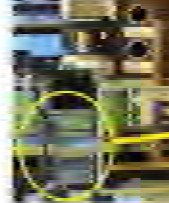
川あそびイベント「どんと叫れ中津川」



川の石を掘り起こしての産卵床づくり



サケの赤ちやん放流会



スーパードレッシング

## 観光推進の展開